

令和3年度大学の世界展開力強化事業（ロシア） 事業総括報告会について

1. 日時： 2022（令和4）年2月2日（水）14:00～16:15

2. 開催形式： オンライン形式（Zoom）

3. 使用言語： 日本語

4. 開催趣旨：

2021（令和3）年度をもって大学の世界展開力強化事業（2017（平成29）年度・ロシア）の補助事業期間が終了することから、5年間の成果を振り返るとともに、社会のニーズに根差した大学の日露人材育成の方向性を検討し、その推進のために有益となる情報やノウハウを共有する。

5. プログラム：

時間		発表者
14:00-14:05	開会挨拶	北海道大学 理事・副学長 横田 篤
14:05-14:10	来賓挨拶	文部科学省高等教育局主任視学官 高等教育国際戦略プロジェクトチーム リーダー 岸本 織江
14:10-15:05	平成29年度タイプA採択校の発表（5年間の総括と今後の展望） ・各大学より、報告会後半のテーマの観点に触れていただきつつ、事業5年間の成果を総括いただく。	
(7分以内×7)		（司会進行） 北海道大学国際連携機構副機構長・教授 川野辺 創
	-千葉大学	園芸学研究院 教授 高垣 美智子
	-東京外国語大学	総合国際学研究院 教授 沼野 恭子
	-東京工業大学	生命理工学院 教授 梶原 将
	-金沢大学	国際機構 准教授 MAMMADOVA Aida
	-長崎大学・福島県立医科大学	長崎大学 医歯薬学総合研究科 教授 高村 昇
	-東海大学	語学教育センター所長・教授 山本 佳男
	-近畿大学	グローバルエデュケーションセンター 特任講師 松下 聖
15:05-15:20	HaRP事業（平成29年度タイプB）の総括と補助事業終了後の運営について	
(7分)	-北海道大学・新潟大学	北海道大学国際連携機構副機構長・教授 川野辺 創
(8分)	質疑応答	
15:20-16:05	発表・意見交換 テーマ：ロシア専門人材育成の長期的展望について ・世界展開力強化事業における人材育成活動の成果をどのように捉え、分析するか。以下の観点から発表・意見交換を行う。	

	-ロシアにおける専門家養成やそれによる人的ネットワークの強化 -日本で活躍するロシア高度人材の育成（産官学連携の観点含む） -ロシア人留学生との共修環境提供による日本人学生への好影響 （グローバル人材育成）	
		（モデレーター） 北海道大学工学研究院 研究院長・教授 瀬戸口 剛
(15分)	発表1： J-Anime meeting in Russia におけるインターンシップ 活動	東京外国語大学 世界言語社会教育センター 特任教授 新井 滋 国際社会学部 4年生 香春 汐里
(5分)	発表2： ロシア人材育成に資する取組 紹介（RJE3プログラム・日本 留学海外拠点連携推進事業 等）	北海道大学ロシアモスクワオフィス 所長・教授 加藤 博文
	意見交換	
16:05-16:15	文部科学省からのコメント・ 参加者との意見交換	
16:15	閉会	

6. 参加機関（計 38 機関より 101 名）

- ・関係省庁（1 機関 4 名）

文部科学省

- ・高等教育機関（21 機関より 79 名）

2017（平成 29）年度採択校（タイプ A）：

千葉大学，東京外国語大学，東京工業大学，金沢大学，長崎大学・福島県立医科大学，東海大学，近畿大学

2017（平成 29）年度採択校（タイプ B）：

北海道大学・新潟大学

2014（平成 24）年度採択校（タイプ A）：

筑波大学，東京大学

その他関係大学：

名古屋大学，神戸大学，上智大学，創価大学，南山大学，京都外国語大学，東京農業大学，長岡技術科学大学，立教大学

- ・日露関係機関（6 機関より 7 名）

在ロシア日本大使館，日露青年交流センター，日本貿易振興機構（JETRO），日ロ交流協会，モスクワ日本センター，ウラジオストク日本センター

- ・自治体・企業等（10 機関より 11 名）

北海道，京セラドキュメントソリューションズロシア，双日株式会社，豊田通商株式会社，日本映像翻訳アカデミー株式会社，プライスウォーターハウスクーパース ロシア，三井物産，JOGMEC，NEC NEVA Communications Systems，SBI バンク